

とうめい



「誘われて」

ユリの季節になり、美しく、優しい甘い香りで知られています。

新品種の数が多く、素晴らしい表情を見せてくれます。 フォトサークルA 藤田キクミ

●目次

誘われて	1P	着任医師紹介	5P
医療記事	2P	研修医紹介	
「手術後の痛みを和らげる新しい方法 超音波ガイド下神経ブロック法について」		かけはし ~登録医紹介~	6P
リハビリ通信「骨粗鬆症と運動」.....	3P	新院長紹介	
老健さつきの里あつぎ		とうめい綾瀬腎クリニック	
内視鏡センターだより		新横浜メディカルサテライト健診センター	
必見!! 胃の検診や大腸がん検診で 精密検査が必要と言われた方へ		働く仲間	7P
特集	4P	入職式	
医療や介護の相談をしてみませんか? 東名厚木病院在宅介護支援センター・ 訪問看護ステーションさつき		ペットのはなし	8P
		編集後記	
		関連施設一覧	

手術後の痛みを和らげる新しい方法 超音波ガイド下神経ブロック法について

麻酔科 ◆ 岩倉 秀雅

手術後の痛みは手術を受ける患者さんの大きな不安要素の一つではないでしょうか。

当院麻酔科ではこれまで全身麻酔が必要となる手術では、手術後の痛みを減らすために可能な限り「硬膜外鎮痛法」と呼ばれる背骨のすきまにカテーテルと呼ばれる細い管を入れ、そこから局所麻酔薬や麻薬を持続的に注入する方法を取り入れてまいりました。しかし、最近では脳梗塞や心筋梗塞などの病気をもちの方や、術期の肺塞栓症の予防のために抗凝固薬（血液をサラサラにするお薬）を内服されている患者さんが増加し、硬膜外鎮痛が行えないケースが増えています。また、上肢の手術など手術部位によっては硬膜外鎮痛のような有効な鎮痛法がなく十分な術後鎮痛が行えない手術もありました。

今回ご紹介する「超音波ガイド下神経ブロック法」は、手術部位で生じた痛みを脳に伝える神経の通り道のうち、体の表面を走行する神経の周りに痛み止めのお薬（局所麻酔薬）を注射して一時的にしびれさせることで痛みの伝達をブロックし、手術後の痛みを減らす技術となります。

超音波診断装置（エコー検査装置）の技術革新により、ノートパソコン程度に装置が小型軽量化し手術室でも簡単に利用することができるようになりました（図1）。超音波を利用して神経そのものや

神経の通り道を可視化することで、これまで体表の構造物を目安に神経の走行を推定するランドマーク法や、電気刺激で神経の位置を確認して局所麻酔薬を注入して行っていた神経ブロック手技を安全確実に行うことが可能となりました。少し技術的な話になりますが、神経ブロックに使用する超音波プローブは10MHz程度の高周波数リニアプローブで、超音波ビームがプローブ面と平行に進み、深さ3cm程度までの神経や血管を可視化します。神経ブロックに使用する針は、22Gで70mmの鈍針で、超音波画像下で針の先端の視認性がよくなるように加工されています。この針を超音波ビームに沿って平行に進めることで針全体を描出し、針の位置を常時確認しながら神経の周囲に導き、局所麻酔薬で神経を包むようにすることで痛みの伝達をブロックします。

当院では整形外科の骨折や変性疾患の手術が多く、上肢・下肢の手術に対して手術後の痛みを減らす工夫が必要となるため2018年度からこの手技を積極的に導入しています。現在、手術の内容に応じた以下のような神経ブロック法を行っております。

上肢の神経ブロックには腕神経叢ブロックが適応となり、手術部位に応じて、斜角筋間アプローチ（肩や鎖骨の手術）、鎖骨上アプローチ（上腕骨）、腋窩アプローチ（前腕）を選択します（図2）。

下肢の神経ブロックには大腿神経ブロック（大腿骨、膝、膝蓋骨）、坐骨神経ブロック（下腿）を選択します（図3）。

腹壁の神経ブロックは主に腹腔鏡補助下手術後の鎮痛に用いられ、腹直筋鞘ブロック（臍周囲）、腹横筋膜面ブロック（腹部）を選択します。

使用する局所麻酔薬は長時間作用型のレボブピバカイン（ボプスカイン）を1カ所に10〜20mL使用し、鎮痛効果はブロック後12〜24時間近くに及びます。手術の内容によっては神経ブロックだけでは十分に痛みを和らげることができない場合もあるので、これまで通りの鎮痛薬を持続的に静脈内に注入するIV-PCA法も併用して痛みの少ない手術後の時間を過ごしていただけるよう工夫しております。

このように、安全に行えるようになった超音波ガイド下神経ブロック法ではありますが、頻度は少ないもののブロック針による神経損傷や出血、局所麻酔薬が血管内に注入されて生じる局所麻酔薬中毒などの合併症の発生には常に注意をして手技を行っております。

手術を受けられる患者さんには、麻酔科の術前診察と麻酔説明の際にこれらの神経ブロックの適応がある場合により詳しい説明をさせていただきます。同意をいただいた上で麻酔管理を行っております。手術後の痛みについて不安をお持ちの場合

合は、麻酔科医師に遠慮なくご質問いただき、不安を解消した上で手術に望まれますようお願いさせていただきます。

参考文献：佐倉伸一編集 周術期超音波ガイド下神経ブロック改訂第2版 真興交易 医書出版部

（図1）当院で使用している超音波診断装置
（図2）腕神経叢ブロック施行中の超音波画像
施行中の超音波画像
AA：腋窩動脈 BBM：上腕二頭筋
CBM：烏口腕筋 TMM：大円筋
MN：正中神経 UN：尺骨神経
RN：橈骨神経 LA：局所麻酔薬
三角印：ブロック針
（図3）大腿神経ブロック施行中の超音波画像
FA：大腿動脈 FN：大腿神経 IPM：腸腰筋 FL：大腿筋膜 FI：腸骨筋膜 LA：局所麻酔薬 三角印：ブロック針



（図1）



（図2）



（図3）



リハビリ通信 第47回

骨粗鬆症と運動

◆骨はどのようにやって造られるの？

骨は、古い細胞を壊す骨吸収と新しい細胞を作る骨形成を繰り返して、徐々に生まれ変わっていきます。骨吸収と骨形成のバランスが崩れ、骨吸収が骨形成を上回ると骨が脆くなり、骨粗鬆症となります。

脆くなった骨は、転んで尻餅などをつかなくても、自分の体重に背骨が耐えられなくなったり、ちよつとした荷物の運搬でもつぶれてしまうことがあります。

また、骨の新陳代謝は女性ホルモンに大きく関連するため、女性は60代を超えると骨粗鬆症になる割合が増えてしまいます。

◆どうしたら分かるの？
「背中が最近曲がった」

「2 cm以上背が縮んだ」「腰や背中が痛い」「転びやすい」などの症状があるときは骨粗鬆症の可能性があります。相談をご希望の場合は骨密度検査やレントゲン検査が出来る病院への受診が必要です。

◆どんな運動がいいの？

骨に適度な負荷をかけてカルシウムの沈着を良くするため、まずは散歩から始めてみましょう。身体を動かす習慣は日常の家事にも大いに期待ができます。

また、骨折や転倒を予防するため、ダイナミックフーリングを代表とする体操が紹介されています。

①片脚立ち 机など掴まるもののそばにまっすぐ立つ。1分間の保持を目指しましょう

②スクワット ひざをつま先よりくお尻を引いて沈みます。椅子を利用した立ち座り動作からでも結構です。

③背伸びの運動 壁に手をつけて、かかとを上げ下ろししましょう。

いかがでしょうか？春の温かい日差しを浴びながら、ゆつくりお散歩からはじめてみませんか？

中橋 真弓



介護老人保健施設 さつきの里あつぎ

★ 平成30年度合同シンポジウム ★ 神奈川県老人保健施設協会

「地域で支える認知症～いま、老健にできること～」というテーマで発表を行いました。

当施設では、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図るため、神奈川県が実施する「認知症介護実践者研修」の受講を積極的に進めています。

2025年には65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症と予測される中で、より良いサービスが提供できるよう、看護・介護職員だけでなく、全職種が認知症への理解を深めていく事が重要だと思います。 事務部 武尾 竜平



内視鏡センターだより

必見!! 胃の検診や大腸がん検診で 精密検査が必要と言われた方へ

当院では、受診当日の胃カメラや大腸内視鏡検査が可能となりました。

希望される方はご本人またはかかりつけ医より当院、地域連携室までご連絡ください。その場で予約日の決定と注意事項の説明を致しますので、予約のための受診は必要ありません。

受診当日は、内視鏡センターで診察の際、同意を頂き検査となります。

ご連絡をお待ちしております。

連絡先：東名厚木病院
TEL 046-229-1771 (代) 地域連携室まで
月～金 … 8：30～17：00
土 …… 8：30～12：00



今年も厚木市がん検診が始まります。内視鏡検査による胃がん検診は、経鼻内視鏡も選択できます。予約・問い合わせは、下記までお願いします。

消化器内視鏡技師(看護師) 平井 弘子

連絡先：とうめい厚木クリニック
TEL 046-229-1950 (代)



医療や介護の相談を

してみませんか？



東名厚木病院居宅介護支援センターと訪問看護ステーションさつきは同じ建物内にあります。その利便性を活かし、私達は保健・医療・福祉・介護の専門職としての経験や考え方などお互いに学ぶべきことが多くあり、何よりも明るく親しみのあるスタッフ同士、日々刺激を受けています。



【東名厚木病院居宅介護支援センター】

介護を必要とする方が介護保険のサービスを受けられるように、介護の知識を幅広く持った専門家であるケアマネジャーを配置している事業所です。現在、職員は5名で10年以上経験のあるケアマネジャーが在籍しております。当センターの特徴としては、ご自宅で医療を必要としている方を多く担当し、東名厚木病院はもとより地域の医療機関と連携しております。

今年5月令和元年を迎えましたが、介護保険と共に開設した当センターも今年で20年目に入ります。これからも気兼ねなく安心して相談できるケアマネジャーを目指してまいります。

【訪問看護ステーションさつき】

当事業所は1995年4月7日に県央地区で最初に開所し、25年目を迎えました。開所当時から「大切なのは当たり前の日常生活」をスローガンとして、地域に根ざした訪問看護を提供し、利用者様の年齢層は0歳から100歳までと幅広く、様々な疾病や障害の方々に訪問しています。今年5月からは看護師1名増員し、計11名で明るく元気な活気溢れるステーションに成長しています。

2017年4月より理学療法士が1名在籍となり、リハビリテーションに特化した訪問をしています。今年5月からはさらに1名が増員しましたので、ご家庭での運動や移動などに不安のある方は、かかりつけ医やケアマネジャーなどを通じてぜひご相談頂ければと思います。

【訪問看護ステーションさつき サテライト愛川】

高齢者世帯が多く訪問看護事業所の少ない愛川町に2017年5月に開設しました。お陰様で多くの依頼があり、四季折々の風景を楽しみながら訪問しています。開設したことにより訪問エリアを愛川町だけではなく相模原の一部まで拡大しています。

これからも職員一同、住み慣れた自宅や地域で、その人らしく生活の質を少しでも高められるように、利用者様の思いに寄り添いながら関わらせて頂きたいと思っています。



着任医師紹介



腎代謝内科

齋藤 快児

さいとう かいじ
福井大学 平成22年卒
専門：腎臓疾患、血液透析



消化器科

玉置 道生

たまき みちお
徳島大学 平成13年卒
専門：消化器疾患



乳腺外科

鎌田 順道

かまた ありみち
山梨大学 平成21年卒
専門：乳腺外科、一般消化器外科、
化学療法



整形外科

宋 貴彰

そう たかあき
北里大学 平成26年卒
専門：整形外科一般、外傷



整形外科

松倉 真也

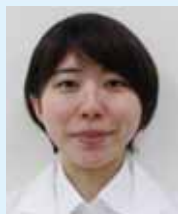
まつくら しんや
富山大学 平成29年卒
専門：整形外科一般



形成外科

田中 俊一

たなか しゅんいち
長崎大学 平成27年卒
専門：形成外科全般



形成外科

宮國 青海

みやくに あみ
東海大学 平成29年卒
専門：形成外科全般

研修医紹介



伊崎 直哉

いざぎ なおや
富山大学 平成31年卒
前期研修1年



神宮 裕太

しんぐう ゆうた
大分大学 平成31年卒
前期研修1年



鈴木 沙貴

すずき さき
福島県立医科大学 平成31年卒
前期研修1年



松本 幹大

まつもと ひとひろ
藤田医科大学 平成31年卒
前期研修1年



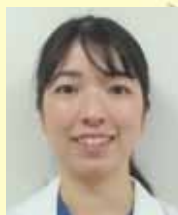
光田 浩二

みつだ こうじ
山梨大学 平成31年卒
前期研修1年



長森 正和

ながもり まさかず
富山大学 平成30年卒
前期研修2年



酒井 彩乃

さかい あやの
富山大学 平成30年卒
前期研修2年

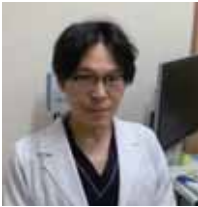
かけはし 登録医紹介

厚木いいだ眼科

vol.27

《所在地》

〒243-0018
厚木市中町3-12-16
TEL. 046-206-5355



院長
飯田 和之

《略歴》

平成7年3月北里大学医学部卒業
同年5月神奈川県立厚木病院
研修開始
平成9年東京慈恵会医大眼科学
講座入局
平成15年5月～平成19年3月
厚木市立病院眼科医長
平成19年5月～
厚木いいだ眼科
日本眼科学会眼科専門医

こんにちは。厚木いいだ眼科の飯田和之と申します。

いつも東名厚木病院様には大変お世話になっております。登録医として患者さんの紹介に加えて健診センターの眼底写真読影担当を長く担当させて頂いております。

私は平成7年に北里大学を卒業し、東京慈恵会医大眼科学講座に入局。眼科医生活をスタートいたしました。平成15年5月から平成19年3月まで厚木市立病院眼科医長として勤務後平成19年5月本厚木駅南口正面のビルに厚木いいだ眼科を開院致しました。平成29年1月には南口再開発に伴い現在地の北口に移転し3年目を迎えます。

現在のクリニックは厚木中町メディカルビルという医療ビルにあり1階が当院、2階は、のじ脳神経外科・しびれクリニック、3・4階に三橋整形外科リハビリテーションクリニックと、各院ドクターの専門性を活かした診療を緊密な協力体制の下で行なっております。地域のかかりつけ医として正解な診断、治療を心がけ東名厚木病院様や大学等基幹病院との連携を行なっていく事が大切であると認識しております。

現在私は毎週水曜日午後、東京慈恵会医大付属病院にて神経眼科外来の非常勤医師として診療を担当しております。眼科一般診療はもちろん専門性にもこだわり行なって参りたいと思います。

また今年の4月から毎週水曜日クリニックの外来担当は昨年で閉院された鈴木眼科医院の鈴木りり子医師に担当させて頂いております。

今後とも地域の方々に信頼されるよう研鑽して参りたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

新院長 (センター長) で挨拶

新横浜メディカルサテライト 健診センター

この度、4月1日をもって新横浜メディカルサテライト健診センターのセンター長に就任致しました、佐藤加奈子と申します。

当センターは2015年11月に設立され、私は2016年4月より婦人科医師として着任致しました。地元企業や周辺住民の皆様徐徐に認知が広まり、現在に至ります。婦人科医師としては痛みや不快感の少ない健診を、健診医としては皆様に健康寿命を長くして頂くためのきっかけづくりの場を、それぞれ提供していきたいと考えております。

4月より川島医師を迎え、新体制でのスタートとなりました。職員も増え益々活気づく当健診センターに是非一度足を運んでみて下さい。今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



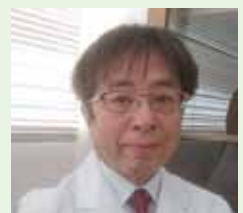
とうめい綾瀬腎クリニック

平成31年4月、とうめい綾瀬腎クリニックの院長として着任いたしました田村博之と申します。

私は平成3年東京医科歯科大学を卒業し、当時の第2内科に入局。初期研修後、腎臓内科グループに所属し、腎生理、腎炎、腎代替療法(血液透析、腹膜透析、腎移植)を中心に診療に携わって参りました。

この10年は地域医療として糖尿病、高血圧症、脂質異常症といった生活習慣に起因する慢性疾患の診療にも積極的に携わって参りました。

私の診療のモットーは「慢性疾患とうまく付き合っていけるよう、笑顔で健やかな毎日が送れるよう寄り添っていく診療」です。この地域のお役にたてるよう頑張る参りたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。



編集後記



●医療機関で仕事をするようになり、病院内で行われる献血には可能な限り協力しています。8月21日は「献血の日」です。改めて献血の重要性を考えてみませんか。因みに6月7日午後当院に献血車が来ます。

(クッキー3)



●パスタを食べに女子旅へ行ってきました☆上に乗ったチーズにナイフを入れるとチーズが溢れました!とても美味しかったです♪

(バナ男)



●新緑の中、筍掘りへ。鍬に振り回されつつ、顔を出した新たけのこに大喜び。100年に一度という竹の花も咲く今年。令和の夜明け。

(とんぼ玉)



●出雲大社に行きました。縁結びの神様のご利益を得て、様々なよい出会いのある人生にしたいな…と、思っていると早速かわいらしいうさぎに出会えました。

(里うさぎ)



●GW後半、田舎へ1泊2日で行ってきました。思ったほど渋滞には巻き込まれず、その代わりに睡魔が多く片道12時間かかっちゃいました。

(リトルミイ)



●先日届いたハイビスカス。太陽と水が大好きで、元気な花を咲かせてくれます!たくさんある蕾、楽しみは続きます。

(豆大福)



2匹の同居人

物心ついた頃から猫や小鳥、うさぎなど常に動物がいる環境で育ちました。小学生からは常に周りに猫がいるのが当たり前で今も続いています。

お金を出して買った事はなく、野良猫や捨て猫が我が家の一員となっています。今は野良猫だった親子2匹、母猫のちびこと娘猫のまるこがいます。もうお気付きでしょうが繋げると「ちびまるこ」になります。他の兄弟猫もいましたがそれぞれ違う道に行きこの名前の2匹が残ったのも何かの運命でしょうか。

親子とはいえ見た目も性格も違い、毎日飽きない日々を送っています。今年14歳と13歳になる2匹ですがまだまだ元気いっぱい。これからも楽しい時間を過ごしていきたいです。

介護課 武山 美紀



各施設の連絡先

東名厚木病院

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-228-0396
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>

とうめい厚木クリニック

〒243-0034 厚木市船子237
TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935
<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

人工透析センター

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-229-1939
<https://www.tomei.or.jp/toseki/>

愛川クリニック

〒243-0303 愛川町中津2035-1
TEL.046-284-5225 FAX.046-284-2772
<https://www.tomei.or.jp/aikawa/>

とうめい綾瀬腎クリニック

〒252-1107 綾瀬市深谷中1-8-20
TEL.0467-70-1115 FAX.0467-70-2115
https://www.tomei.or.jp/ayase_clinic/

東名厚木メディカルサテライトクリニック 健診センター

〒243-0034 厚木市船子224
TEL.046-229-1937 FAX.046-227-0677
<https://www.tomei.or.jp/tams/>

新横浜メディカルサテライト 健診センター

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-11 金子第一ビル4F
TEL.045-471-3855 FAX.045-471-3856
<https://syms.tomei.or.jp>

介護老人保健施設 さつきの里あつぎ

〒243-0034 厚木市船子322-1
TEL.046-227-1188 FAX.046-227-0033
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/roken/>

介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか

〒254-0016 平塚市東八幡4-19-3
TEL.0463-23-7045 FAX.0463-22-4187
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/nadeshiko/>

厚木市南毛利地域包括支援センター

〒243-0039 厚木市温水西2-27-38 カーネーションパーク1階
TEL.046-250-1108 FAX.046-250-1105
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/houkatu/>

訪問看護ステーション さつき

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-228-6556 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/satuki/>

訪問看護ステーション さつき サテライト愛川

〒243-0303 愛甲郡愛川町中津3529 スズキビル2F 202号室
TEL.046-284-6677 FAX.046-228-6688

東名厚木病院居宅介護支援センター

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-227-6557 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/kyotaku/>

複合型施設マザーホーム戸室

〒243-0031 厚木市戸室1-29-1
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/motherhome/>

1F 多機能型事業所「にじいろ」

TEL.046-222-7772

看護小規模多機能型居宅介護事業「いわしぐも」

TEL.046-222-7773

2F 訪問看護ステーション「もみじ」

TEL.046-294-1177 FAX.046-294-1178

3・4F サービス付き高齢者向け住宅「マザーホーム戸室」

TEL.046-222-7755 FAX.046-222-7756



バスの時刻表及びルートが変わりました。

●無料送迎バスを運行しています。
詳しくはホームページの
無料送迎バス時刻表をご覧ください。
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>